



八王子市の無農薬ベーカリーショップ



メタバースコインランドリー



リアルコインランドリー



像を利用してメタバース空間内にオフィスや店舗を再現すれば、家に居ながら仕事をしたり、買い物したりすることです。言い換えれば、都市部の未来の街づくりですが、人口流出や住民の高齢化が進み、シャッター通りといわれるような寂れた商店街が多い地方ではメタバース空間を利用した事業の利便性は層高くなるでしょう。地方創生の二助として『メタバース空間内の街づくり』を加速させていきたいと思っています。」

笹田さんはこのほか、「街に賑わいを取り戻す」支援事業として、メタバース空間での商品代金の支払いについてもNFTを活用した地域通貨券やデジタルサービス券も視野に入れて動いている。NFTという著作権保護のデジタルアートを想像してしまいが、Web3.0のブロックチェーン技術は、ペーパーで発行されていたすべてのものをデジタル化し、スマホで持ち歩けることを可能にしている（具体的には、デジタル名刺やデジタル診察券、デジタル会員権、デジタルサービスチケットなどである）。これらのNFTとメタバース空間を組み合わせることで、クレジットカード情報が必要としない商品代金の支払いを可能とし、バーチャルとリアルとの垣根がより低くなることはいうまでもない。既に自社でコインランドリーを運営しながら、リアル店舗の利用とメタバース空間内におけるコインランドリーにて洗濯代行サービスの受付を行うマッチングを試験的に実施している。

（ライター／斎藤 悠）



未来の街づくりをアレンジする
株式会社BPアレンジメント
B(=Business) P(=Partner) の連携をアレンジメントする会社です。



代表取締役

笹田 潔 さん

学習院大学理学部。大手損害保険会社を経て、投資銀行で新事業会社立上げなどに従事。子会社の公会計コンサルティング会社で4年経営を担い、全国の地方自治体の公会計支援業務で活躍。1998年『株式会社BPアレンジメント』設立。

メタバース空間を利用し 地域活性化の支援業務に光る専門性

街を変える業務に比重
多角的な支援事業展開

少子高齢化が進むこの国の重要課題である地方創生。国交省がその起爆剤となる取組みの創出を地方自治体に促す「自治体SDGs推進事業」を推進する中、先進的な地域活性化コンサルティングで注目度を高めているのが『株式会社BPアレンジメント』代表取締役の笹田潔さんだ。その象徴が「メタバース空間を活用した街づくり」と「NFT (Non-Fungible Token) によるデジタル商品券」である。

一級ファイナンシャル・プランニング技能士の国家資格を生かし、全国の地方自治体の公会計コンサルタントとして活躍していた実績を活かし、「街に賑わいを取り戻す」といった業務に比重を移し、IT全盛時代のニーズを視野に入れて考え出した活性化策だ。その先例となる取り組みが、東京・八王子市で実現に向けて準備を進めている事業。コンピュータの中に構築された3次元の仮想空間、メタバース空間と現実をセットにして無農薬食品の販売や、米粉パンの推進などをメタバース空間内に八王子市の無農薬ベーカリーショップを作り、購入した商品が現実へ郵送されるというものだ。

「前職の投資銀行時代、ドローン関連のリース商品も扱い、ドローンに興味を持ったことがきっかけで取り組み始めたのがドローンネット社の提供しているメタバース空間の事業です。各地域にドローンを飛ばして撮影し、その映

株式会社 BPアレンジメント

ビービーアレンジメント

☎ 03-6205-4241

✉ info@bp-arrange.com

📍 東京都中野区中野4-10-2 中野CP2Fエキスパートオフィス

https://bp-arrange.com/



未来の街づくりをアレンジする
株式会社BPアレンジメント

